SDGs 環 境 経 営 活 動 レ ポ ー ト

2023 年度

活動期間 2023年2月1日～2024年1月31日

【ご挨拶】

株式会社倉屋は1869年創業以来の実績と信頼の上に卸売業を基盤として、
多様化したお客様のニーズに即応できる「流通サービス業」を目指しています。
環境経営方針を基に環境経営活動を展開し、地球環境に優しい企業として
あるべく、環境への配慮も企業活動の大きな役割としてとらえ、新たな一歩を
あゆみだしました。
以下、「SDGs環境経営活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、
私達の取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営活動
に生かしてゆきたいと存じます。

株式会社　倉　屋
代表取締役社長　高橋　達樹

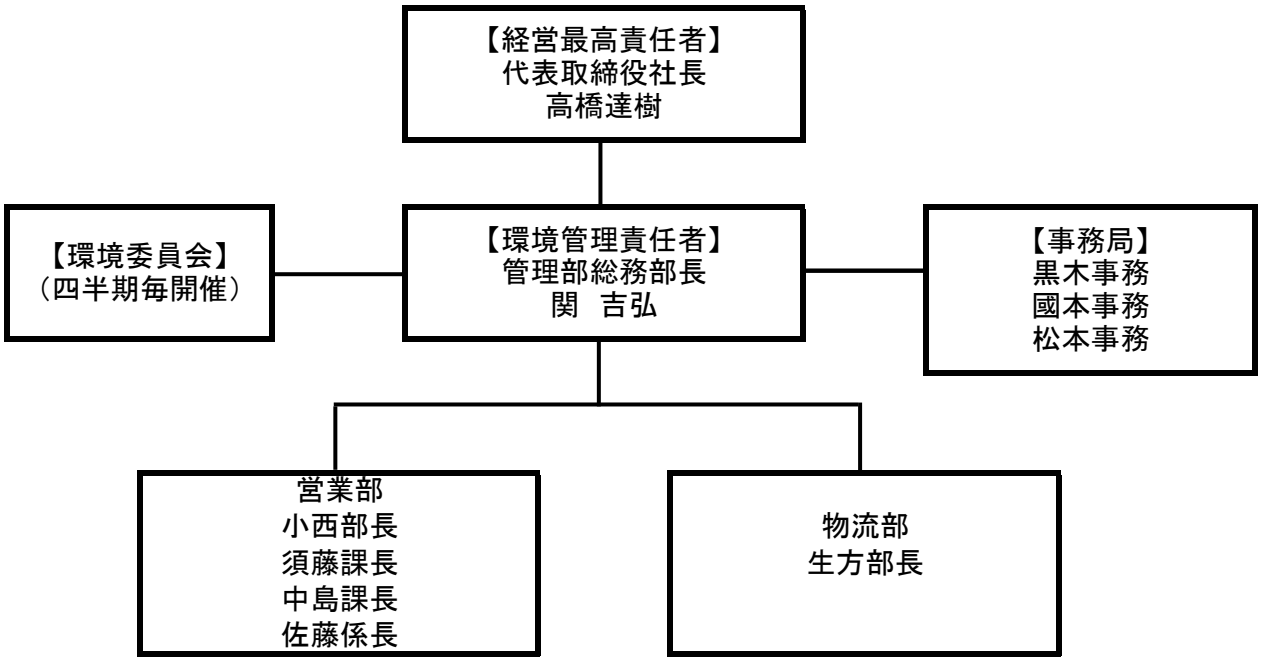
2024年4月1日

株式会社　倉　　屋

１．目次

１．目次　２頁
２．組織の概要及び環境管理体制　３頁
３．事業概要　４頁
４．環境経営方針　５頁
５．環境経営目標　６頁
６．次年度環境経営活動計画　７頁
７．環境経営活動計画の取組みと評価　８頁
８．環境経営実績と次年度環境経営目標　９頁
９．環境経営関連法規制の遵守状況　１０頁
１０．代表者による評価と見直し　１１頁

２. 組織の概要及び環境管理体制



職名	役割
経営最高責任者	【代表取締役社長　高橋達樹】 ①環境経営管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境経営管理責任者	【管理部総務部長　関　吉弘】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境経営委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高経営責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高経営責任者に提供する。
事務局	【黒木事務　國本事務　松本事務】 ①事務局として、環境経営管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境経営委員会	最高経営責任者・環境経営管理責任者・事務局・部門長で構成し、4半期毎に環境経営管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境経営管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

３. 事業概要

1.　事業所及び代表者名

株式会社　倉屋
代表取締役社長　　高橋　達樹

2. 所在地

〒370-0007　群馬県高崎市問屋町西１－４－６

3. 環境経営保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者　　:代表取締役社長　　高橋　達樹

環境経営責任者　:本部総務部長　　関　　吉弘

担当　　:EA21事務局　　黒木　可織
國本　陽子
松本　ユカリ

連絡先
TEL　:　027-361-3441
FAX　:　027-361-3437

4. 事業の内容　　（認証登録範囲）

日用品雑貨の卸売業、インテリア内装工事

5. 事業規模

活動規模	単位	2023年度（36期）
主要製品販売額	百万円	1,375
従業員数	人	42
事務所及び倉庫延べ床面積	㎡	4,004

4.環境経営方針

〔基本理念〕

㈱倉屋は、地球の環境破壊をくいとめ、美しい地球を子孫達に残すことが、
人類共通の最重要課題であると考え、出来る限り環境に配慮した事業活動をすると共に、
お客様の環境保護活動に有益な情報を提供することに努めてまいります。

〔基本方針〕

上記理念の実現にあたり、当社の主力事業である卸売業と内装工事業の業務遂行に
於いて、以下に基本的な活動項目を掲げ取り組みます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力量の削減・化石燃料の削減に努めます。

②廃棄物の発生を抑制するとともにリサイクル率の向上に努めます。

③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

④環境に関わる法規その他公的規制等を遵守します。

⑤環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の
向上を図ります。

⑥環境経営管理に関する情報は社内外に開示し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

⑦お客様の環境保護活動に有益な情報を提供します。

⑧エコドライブを推進し、交通事故撲滅に努め環境に配慮した事業活動をします。

制定日： 2010年 2月 1日
改訂日： 2019年 2月 1日

株式会社 倉 屋

代表取締役 高橋 正一

5.環境経営目標

当社に於ける2022年度（2022年2月1日～2023年1月31日）の環境負荷実績を把握し、
2023年度の目標を下記のとおり定め活動を開始した。

1．主要な環境経営目標と環境経営負荷・実績

環境経営目的項目	管理実施項目	単位	実績	目標	実績
			2022年	2023年	
			22年2/1～23年1/31	23年2/1～24年1/31	
1．二酸化炭素排出量の削減（目標：前期に対し、1％削減）	電力の削減	Kwh/百万円	41.42	41.01	40.88
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	2.79	2.76	2.63
	軽油使用の削減	ℓ/百万円	33.73	33.39	34.90
	ガス使用の削減	Nm^3/百万円	0.0265	0.0262	0.0119
	二酸化炭素排出量	Kg-CO^2/百万円	110.34	109.24	112.78
2．廃棄物排出量の削減（目標：前期に対し、1％削減）	一般廃棄物の削減	t/百万円	0.0115	0.0114	0.0118
3．水資源投入量の削減（目標：前期に対し、1％削減）	水道水使用の削減	m^3/百万円	0.169	0.167	0.491
4．お客様へ環境保護活動に有益な情報を提供	情報提供	件数	27	10	22.000
5．環境経営保全の推進	交通事故無事故達成	件数	0	0	0.000

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0．406を使用。

※2022年度売上1，432百万円：2023年度売上1，375百万円

2023年度二酸化炭素総排出量

155,071.18（kg-CO_2）

2.上記の目標の他に、以下の取組を推進する。

①ダンボール・コピー用紙・カタログ等リサイクルへの再利用

②使用不能パレットの納入業者への返却及び譲渡による再利用（リユース）
当社は日用品雑貨の卸売業であり、送られてくる荷物も多く使われている梱包資材もパレットも多量に発生する。
梱包資材は資源リサイクル業者に委託、パレットは運送会社及び取引先各社に協力を仰ぎ返却再利用する取組を推進している。

③化学物質は使用しておりません。

※　資源再生利用は100％実施継続中
※　木製パレットは約98％以上・プラに関しては100％再利用している

6. 環境経営活動計画

活動期間　2023年2月～2024年1月

環境経営方針	環境経営目的				環境経営活動計画	
	項目	年度目標	中期目標		2023年度	
		2023年度	2024年度	2025年度		
地球の環境破壊をくいとめることと影響する次の項目に対して取り組みます	売上高100万円当りの二酸化炭素排出量の削減	2022年度実績に対して1%の削減	2022年度実績に対して2%の削減	2022年度実績に対して3%の削減	電力・ガソリン・軽油の消費量の削減	①エアコン空調温度の適正化 ②デマンド装置の活用による電力消費量の抑制 ③エアコン室外機へ寒冷紗の取付（劣化の為の修繕） ④照明、PC電源不要時OFFの徹底 ⑤社用車車検、整備、エコドライブの徹底
	売上高100万円当りの廃棄物の削減	2022年度実績に対して1%の削減	2022年度実績に対して2%の削減	2022年度実績に対して3%の削減	廃棄物排出量の削減	①廃棄物分別の徹底 ②コピー裏紙使用の徹底 ③マニフェストの管理の徹底 ④使用量削減意識の徹底
	売上高100万円当りの水資源投入量の削減	2022年度実績に対して1%の削減	2022年度実績に対して2%の削減	2022年度実績に対して3%の削減	水資源投入量の削減	①節水活動の推進 ②トイレ自動水流の時間変更 ③給排水管路の点検と使用量のチェック ④節水呼びかけのポスター・シール貼付
	お客様に環境保護活動に有益な情報を提供する	2022年度実績に対してポイントの向上	2022年度に対してアイテムを増やす	情報提供件数を増やす	お客様に環境保護活動に有益な情報を提供する	推進（カタログ・情報）等を利用。
	環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	①倉庫及び事務所の整理・整頓 ②社内駐車場での漏油等の管理徹底 ③開封化学系商品、産業廃棄物の管理の徹底 ④社内駐車場の清掃

7. 環境経営活動計画の取組みと評価

取組計画	合否	評価
Ⅰ. 売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減 「目標達成手段」 1. 電力の削減 ①照明時間の管理とLED化の促進 ②室内温度の管理 2. 自動車燃料使用の削減 ①アイドリングストップの実施 ②エコドライブ研修開催と推進 3. ガス使用量の削減 ①給湯器の燃焼時間の管理	×	1、電力では、倉庫入口の投光器をLED化したこと、また暖冬の影響もあり、本年度目標より約2%下回り、年間の使用量としては対前年でマイナス1563kwhという結果が出せました。さらなる社内電気設備のLED化とデマンド装置等の活用・こまめな消灯等で無駄のない電力の使用に取り組んでまいります。 2、営業車について、担当替えや配置転換により月によって増減がありましたが、ガソリンは目標より約6%（369.76ℓ）削減、軽油は約3%増加しましたが原単位では312.85ℓの削減が出来ました。 3、ガスについては、主電源をこまめに入切すること及び6月～10月に主電源を入れないことにより、目標より56%の削減、使用量で前年より12㎥の削減が出来ました。 二酸化炭素排出量は本年度目標より2.5%上回る結果となりましたが、原単位での算出では、昨年を下回ることが出来ている為、今後とも、二酸化炭素排出量全体の削減に努めてまいります。
Ⅱ. 売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減	×	一般廃棄物については、本年度目標を0.03%上回ってしまいましたが、総排出量としては690kg削減が出来ております。内訳としては、段ボールが250kg増加、雑誌カタログ等は880kg減、フィルムは60kg削減出来ました。カタログは紙ベースからWebカタログへの移行も進んでいるものと思われます。今後も緩衝材等の分別・リサイクルの徹底を推進し一般廃棄物の削減に取り組みます。
Ⅲ. 売上高100万円当たりの水資源投入量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減	×	水資源については、7月の検針の際に漏水が発覚し、水道管の修理をしましたが、8月分・10月分で通常（40㎥）の30倍以上の使用量になってしまいました。漏水以外の時期については前年より使用量は減っております。 水道管が老朽化していると思われるため、定期的に検針計を確認するよう、計画致します。
Ⅳ. お客様に環境保護活動に有益な情報を提供 『目標』 現状把握と購入時の選別の徹底	○	推進カタログ・情報等を利用。 目標数10情報のところ、2022年度の27情報よりは少なかったが、22情報と目標を達成することができました。昨今の体に安全・地球に優しい、エコ商品・バイオマス商品・非木材パルプ商品・竹材商品・FSC森林認証紙製品の広がりを受け、今後もお客様にとって、環境保護活動に有益な情報を提供してまいります。
Ⅴ.環境保全の推進 『目標』 交通事故の削減	○	エコアクション21に取り組んで14年が経過いたしましたが、今年度も環境保全の推進として交通事故0を掲げ、2年連続で達成することが出来ました。今後も社員一丸となり、エコドライブを心掛け、気を引き締めて無事故を目指してまいります。

8.環境経営実績と次年度環境経営目標

当社に於ける2022年度（2022年2月1日～2023年1月31日）の環境負荷実績を把握し、
20232年度の目標を下記のとおり定め活動を開始した。

1．主要な環境経営目標と環境経営負荷・実績

環境経営目的項目	管理実施項目	単位	実績	目標	実績	目標	目標
			2022年	2023年		2024年	2025年
			22年2/1～23年1/31	23年2/1～24年1/31		23年2/1～24年1/31	24年2/1～25年1/31
1．二酸化炭素排出量の削減（目標：前期に対し、1%削減）	電力の削減	Kwh/百万円	41.42	41.01	**40.88**	40.47	39.65
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	2.79	2.76	**2.63**	2.60	2.55
	軽油使用の削減	ℓ/百万円	33.73	33.39	**34.90**	34.55	33.85
	ガス使用の削減	Nm^3/百万円	0.0265	0.0262	**0.0119**	0.0118	0.012
	二酸化炭素排出量	Kg-CO^2/百万円	110.34	109.24	**112.78**	111.65	109.40
2．廃棄物排出量の削減（目標：前期に対し、1%削減）	一般廃棄物の削減	t/百万円	0.0115	0.0114	**0.0118**	0.0117	0.011
3．水資源投入量の削減（目標：前期に対し、1%削減）	水道水使用の削減	m^3/百万円	0.169	0.167	**0.491**	0.486	0.476
4．お客様に環境保護活動に有益な情報を提供	情報提供	件数	27	10	**22**	22	22
5．環境経営保全の推進	交通事故無事故達成	件数	0	0	**0**	0	0

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0．406を使用。

※2022年度売上1，432百万円：2023年度売上1，375百万円

2023年度二酸化炭素総排出量

155,071.18（kg-CO2）

2.上記の目標の他に、以下の取組を推進する。

①ダンボール・コピー用紙・カタログ等リサイクルへの再利用

②使用不能パレットの納入業者への返却及び譲渡による再利用（リユース）
当社は日用品雑貨の卸売業であり、送られてくる荷物も多く使われている梱包資材もパレットも多量に発生する。
梱包資材は資源リサイクル業者に委託、パレットは運送会社及び取引先各社に協力を仰ぎ返却再利用する取組を推進している。

③化学物質は使用なし。

９. 環境経営関連法規制の遵守状況

1. 当社に適用となる主な環境経営関連法規

法規制等の名称	遵守項目	遵守状況
自動車Nox.PM	排出抑制	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物の収集運搬及び処分委託基準	遵法
	・産業廃棄物保管基準	遵法
	・マニュフェストの管理	遵法
毒物・劇物取締法	・盗難防止	遵法
	・適切な容器や貯蔵場所	遵法
消防法	・指定数量以上の危険物の届出	遵法
	・消防用設備等の設置	遵法
	・防火管理者の設置	遵法
自動車リサイクル法	・リサイクル料金の支払	遵法
	・リサイクル券の保管	遵法
フロン排出抑制法	・簡易検査	遵法

2. 環境経営関連法規への違反、訴訟等の有無

違反については自社関係の違反はありません。
また、関係機関等からも特に指摘は無く、訴訟も同様にありませんでした。

10. 代表者による評価と見直し

1. 取り組みの評価と今後の課題
今年度は、コロナ後の反動・物価高への対応と世界規模の状況変化に振り回される一年となりました。そのような状況下で、売上対比の目標は未達に終わりましたが、絶対値を昨年度より改善出来ていることは取り組みの成果の表れだと感じております。 今後は、物流の2024年問題などで、当社の配送の状況も変化し、燃料消費量の増加など懸念されます。
2. 来年度の取り組み
来年度以降は、営業・配送業務の効率化による燃料消費量の削減と、システム化による紙消費量の削減を目標にして活動したいと思います。

（株）倉屋は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています